

令和5年度法務省委託事業

共生社会と人権に関するシンポジウム
～多様性と包摂生のある社会を目指して～

報 告 書

令和5年度法務省委託「共生社会と人権に関するシンポジウム～多様性と包摂性のある社会を目指して～」実施完了報告

1 実施概要

- (1) テーマ： 共生社会と人権に関するシンポジウム～多様性と包摂性のある社会を目指して～
- (2) 日 時： 令和6年2月3日（土）午後1時30分～午後4時
- (3) 形 式： オンライン（リアルタイム）配信
赤坂インターシティコンファレンス（東京都港区赤坂1丁目8-1 赤坂インターシティA i r）をメイン会場として配信
- (4) 対象者： 一般市民（事前申込不要、参加無料）
- (5) 主 催： 法務省、全国人権擁護委員連合会、東京法務局、東京都人権擁護委員連合会、公益財団法人人権教育啓発推進センター
- (6) 後 援： 経済産業省、中小企業庁、国連広報センター、東京都、大阪府、特別区長会、東京都市長会、大阪府市長会、東京都町村会、大阪府町村長会、NHK、読売新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、日本経済新聞社、産経新聞社、共同通信社、時事通信社（順不同）
- (7) 内 容：
 - 開会、岸田文雄内閣総理大臣によるビデオメッセージ（10分）
 - 基調講演（30分）
 - ・テーマ「「ヘイトスピーチ解消に向けた取組」～川崎市の取組を例として～」
吉戒 修一（弁護士/川崎市差別防止対策等審査会会長/元法務省人権擁護局長）
 - 基調報告（60分）
 - ・テーマ「「共生社会の実現に向けて」～今、私たちにできること～」
〔登壇者〕
杉本 尚嗣（トヨタ自動車株式会社人事部総括室 DEI 推進Gグループ長）
大澤 寛之（株式会社ファミリーマートマーケティング本部サステナビリティ推進部副部長）
田邊 雅之（大阪府府民文化部人権局人権擁護課長）
廣瀬 俊朗（株式会社HiRAKU代表取締役/元ラグビー日本代表キャプテン）
ジェフ・バーグラント（京都外国語大学国際貢献学部グローバル観光学科教授）
 - パネルディスカッション（30分）
 - 〔コーディネーター〕
坂元 茂樹
 - 〔コメンテーター〕
吉戒 修一
 - 〔パネリスト〕
杉本 尚嗣
大澤 寛之
田邊 雅之
廣瀬 俊朗
ジェフ・バーグラント
 - 閉会

2 目的

国連で採択されたSDGsの「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するには、「人間の尊厳」を社会全体の連帯を支える中核的な理念とし、企業や地方公共団体、社会の一人ひとりに至るまで、全ての人の行動が求められている。

そこで「多様性と包摂性のある社会を目指して」私たち一人ひとりに何ができるのかを考えることを目的とし、本シンポジウムを開催する。

3 参加者数等

521人 (YouTube「ユニーク視聴者数」)

※参考：同「視聴回数」963回

同「最大同時視聴者数」103人

同「インプレッション数」11,000回

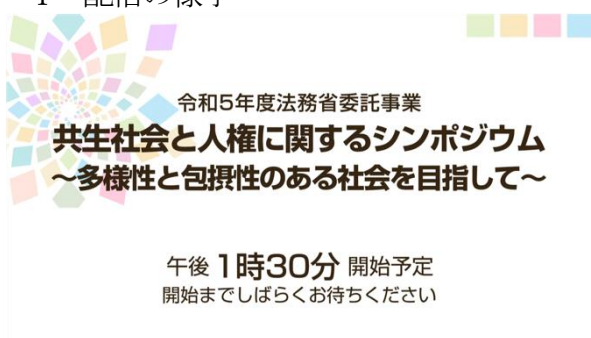
※2週間後の結果

1,288人 (YouTube「ユニーク視聴者数」)

参考：同「視聴回数」2,071回

同「インプレッション数」23,000回

4 配信の様子



ライブ配信前：案内

ビデオメッセージ 岸田文雄内閣総理大臣



基調講演・コメンテーター 吉戒 修一 (弁護士/川崎市差別防止対策等審査会会長/元法務省人権擁護局長)



基調報告・パネリスト 杉本 尚嗣 (トヨタ自動車株式会社)



基調報告・パネリスト 大澤 寛之 (株式会社ファミリーマート)



基調報告・パネリスト 田邊 雅之 (大阪府)



基調報告・パネリスト 廣瀬 俊朗
(株式会社H i R A K U 代表取締役/元ラ
グビー日本代表キャプテン)



基調報告・パネリスト ジェフ・バーグラント
(京都外国語大学国際貢献学部グローバル観光
学科教授)



コーディネーター 坂元 茂樹 ((公財)
人権教育啓発推進センター 理事長)

別添

- ・当日配布資料 (ダウンロード用プログラム)
- ・アンケート集計結果
- ・採録記事 (紙面イメージ)

5 オンライン (アーカイブ配信)

本シンポジウム終了後、YouTube 人権チャンネルにおいて、オンライン (アーカイブ) 配信を実施。(令和6年2月3日(土)の公開から1年間限定)

2024.2.3 令和5年度共生社会と人権に関するシンポジウム～多様性と包摂生のある社会を目指して～

<https://youtu.be/eI644hUeUH0>

令和5年度法務省委託

「共生社会と人権に関するシンポジウム ～多様性と包摂性のある社会を目指して～」

■日時

令和6年2月3日（土） 午後1時30分～午後4時00分（予定）

※オンライン（YouTube LIVE）配信

■主催

法務省／全国人権擁護委員連合会／東京法務局／東京都人権擁護委員連合会／

公益財団法人人権教育啓発推進センター

■後援

経済産業省／中小企業庁／国連広報センター／東京都／大阪府／特別区長会／東京都市長会／

大阪府市長会／東京都町村会／大阪府町村長会／NHK／読売新聞社／朝日新聞社／

毎日新聞社／日本経済新聞社／産経新聞社／共同通信社／時事通信社（順不同）

目 次

● タイムスケジュール	3
● 基調講演/コメンテーター 登壇者プロフィール	
○ 吉戒 修一さん	4
● 基調報告/パネルディスカッション 登壇者プロフィール	
○ 基調報告1 トヨタ自動車株式会社	5
○ 基調報告2 株式会社ファミリーマート	5
○ 基調報告3 大阪府	5
○ 基調報告4 廣瀬 俊朗さん	6
○ 基調報告5 ジェフ・バーグランドさん	7
○ コーディネーター 坂元 茂樹	8
● Myじんけん宣言の御紹介	9
● YouTube での人権啓発関連映像の配信について	10
● 「ビジネスと人権に関する調査研究」報告書について	11
● 人権ライブラリー・相談窓口等の御案内	11

本シンポジウムの目的

国連で採択されたSDGsの「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するには、「人間の尊厳」を社会全体の連帯を支える中核的な理念とし、企業や地方公共団体、社会の一人ひとりに至るまで、全ての人の行動が求められています。

本シンポジウムでは、「多様性と包摂性のある社会を目指して」私たち一人ひとりに何ができるのか、一緒に考えていきます。

タイムスケジュール

- 13:30~13:40 **開会・内閣総理大臣によるビデオメッセージ**
- 13:40~14:10 **基調講演**
「ヘイトスピーチ解消に向けた取組」～川崎市の取組を例として～
吉戒 修一さん
(弁護士・川崎市差別防止対策等審査会会長・元法務省人権擁護局長)
- 14:10~14:15 **休憩**
- 14:15~15:15 **基調報告**
「共生社会の実現に向けて」～今、私たちにできること～
○ 報告1：トヨタ自動車株式会社
○ 報告2：株式会社ファミリーマート
○ 報告3：大阪府
○ 報告4：廣瀬 俊朗さん
(株式会社 HiRAKU 代表取締役・元ラグビー日本代表キャプテン)
○ 報告5：ジェフ・バーグランドさん
(京都外国語大学国際貢献学部グローバル観光学科教授)
- 15:15~15:25 **休憩**
- 15:25~15:55 **パネルディスカッション**
○ パネリスト：トヨタ自動車株式会社、株式会社ファミリーマート、大阪府、廣瀬 俊朗さん、ジェフ・バーグランドさん
○ コメンテーター：吉戒 修一さん
○ コーディネーター：坂元 茂樹
- 15:55~16:00 **閉会**

● **本シンポジウム終了後、アンケートへの御協力をお願いいたします**

<https://forms.gle/XpxNfifiSo2tPiNDA>



[基調講演/コメンテーター]

基調講演/コメンテーター

よしかい しゅういち
吉戒 修一

弁護士・川崎市差別防止対策等審査会会長・
元法務省人権擁護局長



【略歴】

2001年 1月	法務省人権擁護局長
2005年 3月	静岡地方裁判所長
2006年 12月	東京高等裁判所部総括判事
2009年 3月	横浜地方裁判所長
2010年 6月	東京地方裁判所長
2011年 5月	大阪高等裁判所長官
2012年 3月	東京高等裁判所長官
2013年 7月	定年退官
2013年 9月	東京弁護士会登録 TMI 総合法律事務所顧問弁護士就任 法曹養成制度改革顧問会議顧問
2013年 10月	国土交通省中央建設工事紛争審査会特別委員
2014年 10月	司法書士養成制度検討会検討委員
2015年 4月	裁判官の職務情報提供推進委員会委員（東京弁護士会）
2016年 6月	丸紅株式会社社外監査役
2016年 12月	国土交通省中央建設工事紛争審査会会長
2017年 4月	東京都情報公開審査会委員及び東京都個人情報保護審査会委員（会長代理）
2017年 6月	株式会社商工組合中央金庫社外監査役
2019年 6月	一般財団法人法曹会評議員
2020年 7月	川崎市差別防止対策等審査会会長

[基調報告]

基調報告者 1 / パネリスト 1
トヨタ自動車株式会社

[基調報告]

基調報告者 2 / パネリスト 2
株式会社ファミリーマート

[基調報告]

基調報告者 3 / パネリスト 3
大阪府

[基調報告]

基調報告者 4 / パネリスト 4

ひろせ としあき
廣瀬 俊朗



株式会社HIRAKU 代表取締役・元ラグビー日本代表キャプテン

【略歴】

1981年生まれ、大阪府吹田市出身

1986年 吹田ラグビースクールへ通い始める

2000年 大阪府立北野高校 卒業

2004年 (株)東芝 入社 東芝ブレイブルーパス 入団

2005年 慶應義塾大学理工学部 卒業

高校日本代表や日本代表でも主将を務める

代表キャップ数(日本代表として試合に出た数)28

2015年 ラグビーワールドカップイングランド大会メンバーで歴史的な勝利を収める

2016年 ラグビー引退

2017年 東芝ブレイブルーパスコーチを2年間務める

2019年 (株)東芝 退社

(株)HIRAKU 設立

TBS「ノーサイド・ゲーム」浜畑譲役で出演

ビジネス・ブレークスルー大学大学院 卒業 MBA取得

ラグビーワールドカップ2019アンバサダー

2020年 日本テレビ系列 news zero 木曜パートナーとして出演

2023年 『CAFE STAND BLOSSOM ～KAMAKURA～』をオープン

特定非営利活動法人 One Rugby 理事長

一般社団法人スポーツを止めるな共同代表理事

一般社団法人アポロプロジェクト専務理事

認定特定非営利活動法人 CLOUDY 理事

【著書・監修書】

『ラグビー質的観戦入門』（角川新書）2023/08/10

『相談される力 誰にも居場所をつくる55の考え』（光文社）2022/04/20

『なんのために勝つのか。ラグビー日本代表を結束させたリーダーシップ論』（東洋館出版社）『ラグビー知的観戦のすすめ』（角川新書）

企業コラボ・監修『ぼくら は ばらばら』（ロクリン社）

[基調報告]

基調報告者 5 / パネリスト 5

ジェフ・バーグランド

京都外国語大学国際貢献学部グローバル観光学科教授



【略歴】

- 1949年4月6日 アメリカ合衆国南ダコタ州生まれ
- 1966年 ミネソタ州カールトン大学に入学、宗教学を専攻
- 1969年 同志社大学に留学（6月～12月）
- 1970年 カールトン大学卒業、9月から同志社高校に就職
- 1992年 大手前女子学園教授に就任
- 1998年 帝塚山学院大学人間文化学部教授に就任
- 2008年 京都外国語大学 外国語学部 英米語学科教授就任
同大学 大学院教授に就任
- 2014年4月 京都国際観光大使 就任
- 2017年5月 Panasonic日本のお掃除再発見プロジェクトナビゲーター就任
- 2018年 京都外国語大学国際貢献学部グローバル観光学科長に就任、現在に至る

[基調報告]

コーディネーター

さかもと しげき
坂元 茂樹

公益財団法人人権教育啓発推進センター理事長
公益財団法人世界人権問題研究センター理事長兼所長
神戸大学名誉教授



【略歴】

1978年4月～1979年3月 琉球大学法学部助手
1979年4月～1983年3月 琉球大学法学部講師
1983年4月～1991年3月 琉球大学法学部助教授
1991年4月～2003年3月 関西大学法学部教授
2001年4月～2003年3月 関西大学国際交流センター所長
2003年4月～2013年9月 神戸大学大学院法学研究科教授
2008年6月 「ハンセン病差別撤廃決議」に基づき、
国連人権理事会諮問委員会において、
ハンセン病差別撤廃を目的とする原則及び
ガイドライン（P&G）の作成を担当
2013年10月～2021年3月 同志社大学法学部教授
2019年7月～現在 公益財団法人人権教育啓発推進センター理事長
2022年7月～現在 公益財団法人世界人権問題研究センター理事長兼所長

My じんけん宣言の御紹介

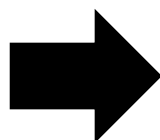
「 My じんけん宣言 」とは

企業、団体及び個人の方が、人権を尊重する行動をとることを宣言することによって、誰もが人権を尊重し合う社会の実現を目指す取組です。

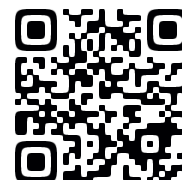
「人権」は、誰にとっても身近で大切なものです。あなたの会社やあなたからの「My じんけん宣言」をお待ちしています。



投稿はこちらから



<https://www.jinken-library.jp/my-jinken/>

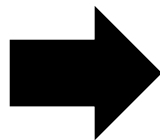


「My じんけん宣言 性的マイノリティ編」とは

性的マイノリティの方々に配慮した様々な取組を進めている企業等の皆様方に、その内容を公表していただくことにより、同様の取組を行う方々に参考としていただくとともに、一般の方々にも幅広くご覧いただくことで、多様性と包摂性のある社会の実現を目指す取組です。



投稿はこちらから



<https://www.jinken-library.jp/respect-for-gender-diversity/>



■お問い合わせ先■ 「Myじんけん宣言」事務局

〒105-0012 東京都港区芝大門2-10-12 KDX芝大門ビル4F (公財)人権教育啓発推進センター)

TEL : 03-5777-1919 / FAX : 03-5777-1954 (人権ライブラリー直通)

Email : myjinken@jinken.or.jp / WEB : <https://www.jinken-library.jp/my-jinken/>

YouTube での人権啓発関連映像の配信について

動画共有サイト YouTube（ユーチューブ）の「人権チャンネル」と「法務省チャンネル」では、人権について理解していただくための映像を公開しています。

人権チャンネル

<https://www.youtube.com/jinkenchannel>



法務省チャンネル

<https://www.youtube.com/MOJchannel>



「今企業に求められる「ビジネスと人権」への対応」

「ビジネスと人権に関する調査研究」報告書に基づき、企業が「ビジネスと人権」に関する取組を進めるに当たり、参考となる情報をドラマやCG、ナビゲーターによる解説などで分かりやすく紹介している研修用動画です。

<https://youtu.be/ERbwVBTJU7k?si=vvP5G51dKTJAK0Ja>



人権啓発動画「誰かのこと じゃない。」

人権問題は決して、自分以外の「誰か」のことではありません。主人公である美緒たちがそのことに気づく様子を様々な角度から描くショートストーリーです。



障害のある人編

https://youtu.be/qOpr0gGxVHg?si=E9fC5KA_Frb71FWV



外国人編

https://youtu.be/R6L5k4oTT_A?si=ZNeQENBm2WzWXuYo



「ビジネスと人権に関する調査研究」報告書について

近年、企業活動における人権尊重への注目が高まっており、「人権問題」への対応は、時として、企業の価値に大きく関わります。

令和2年10月に「『ビジネスと人権』に関する行動計画（2020-2025）」が公表されたことも踏まえ、企業における人権尊重の取組強化に資するため、「ビジネスと人権に関する調査研究」報告書を作成しました。

本報告書は、「報告書（詳細版）」、「報告書（概要版）」、「投影資料」及び「活用の手引」の4つで構成されており、研修教材として使用することができます。



https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken04_00188.html



人権ライブラリー・相談窓口等の御案内

人権ライブラリーでは、およそ 16,000 冊の国内外の人権関連図書を始め、映像資料 (DVD、VHS)、紙芝居、展示用パネル、全国の地方公共団体が発行する啓発資料などを所蔵し、閲覧・貸出しを行っています。

これらの啓発資料は、郵送等による貸出しを行っており、遠方の方も御利用いただけます。

また、無料の貸会議室 (多目的スペース) もございます。ぜひ、御利用ください。



〒105-0012
東京都港区芝大門 2-10-12
KDX 芝大門ビル 4F
TEL 03-5777-1919
FAX 03-5777-1954
Eメール library@jinken.or.jp

※ 公益財団法人人権教育啓発推進センター併設

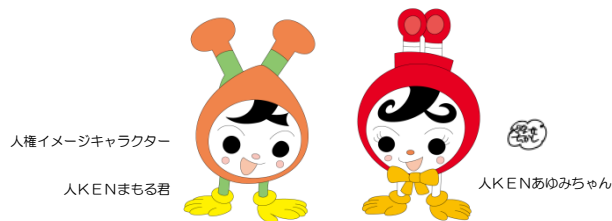


人権ライブラリー

検索

<https://www.jinken-library.jp>





人権イメージキャラクター人KENまもる君と人KENあゆみちゃんは、漫画家やなせたかしさんのデザインにより誕生しました。2人とも、前髪が「人」の文字、胸に「KEN」のロゴで、「人権」を表しています。人権が尊重される社会の実現に向けて、全国各地の人権啓発活動で活躍しています。

人権を侵害されていると感じたら… 法務局・地方法務局、その支局に気軽に御相談ください

みんなの人権110番 (全国共通人権相談ダイヤル)	 0570-003-110
女性の人権ホットライン	 0570-070-810
こどもの人権110番	 0120-007-110
外国語人権相談ダイヤル	 0570-090-911

令和5年度法務省委託

共生社会と人権に関するシンポジウム

公益財団法人人権教育啓発推進センター

「共生社会と人権に関するシンポジウム」事務局

〒105-0012 東京都港区芝大門 2-10-12 KDX 芝大門ビル 4F

TEL 03-5777-1802 (代表) / FAX 03-5777-1803

ウェブサイト <http://www.jinken.or.jp>   @Jinken_Center




YouTube 「人権チャンネル」 <https://www.youtube.com/jinkenchannel> 

YouTube 「法務省チャンネル」 <https://www.youtube.com/MOJchannel> 

人権ライブラリー <https://www.jinken-library.jp> 

※ 人権教育啓発推進センター併設

法務省人権擁護局 <https://www.moj.go.jp/JINKEN/> 

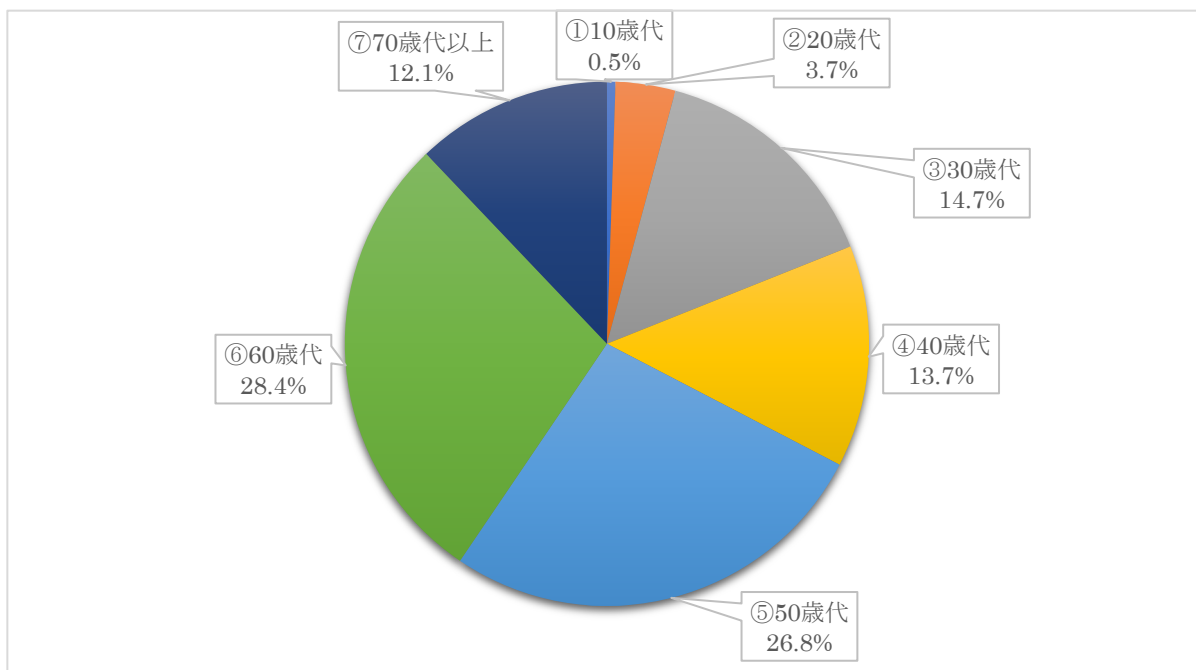
   法務省人権擁護局で検索！

共生社会と人権に関するシンポジウム～多様性と包摂性のある社会を目指して～ 参加者アンケート集計結果

(注) 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため合計は必ずしも100とは限らない。

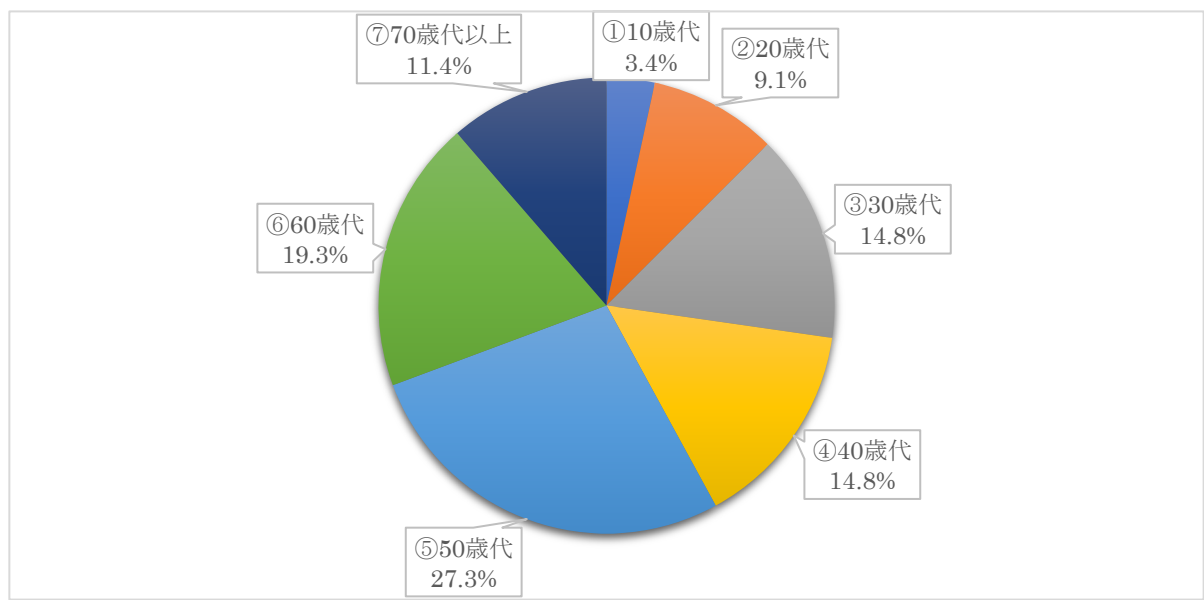
1-1-1. ご自身の年齢について、当てはまるものを選んでください。

1	10歳代	1人
2	20歳代	7人
3	30歳代	28人
4	40歳代	26人
5	50歳代	51人
6	60歳代	54人
7	70歳代以上	23人
8	無回答	0人
	計	190人



1-1-2. 複数人で視聴された場合は年齢の欄にそれぞれの人数を選択してください。
 (ご自身は、人数に含めないでください)

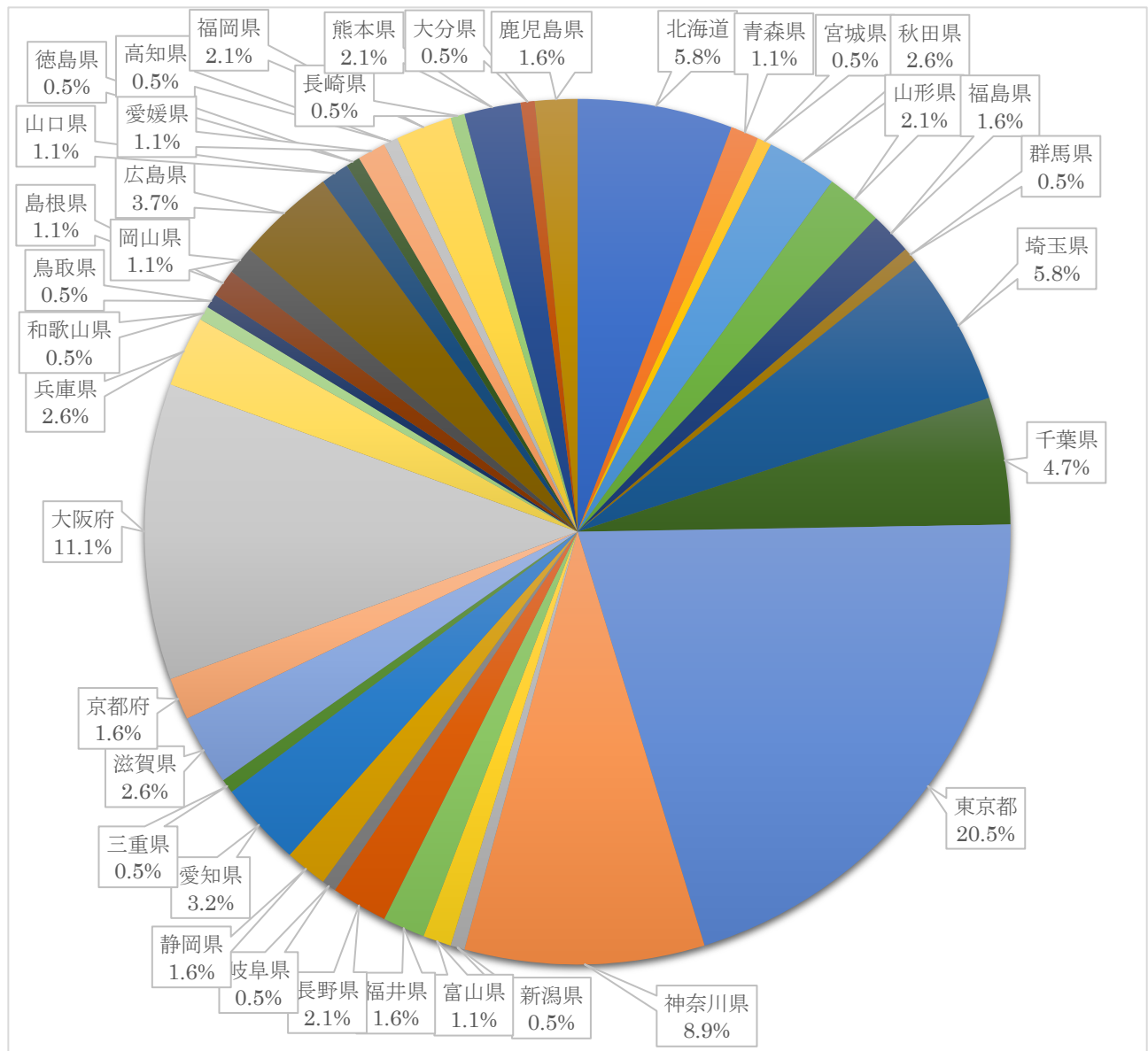
1	10 歳代	3 人
2	20 歳代	8 人
3	30 歳代	13 人
4	40 歳代	13 人
5	50 歳代	24 人
6	60 歳代	17 人
7	70 歳代以上	10 人
	計	88 人



1-2. ご自身の居住地について、当てはまるものを選んでください。

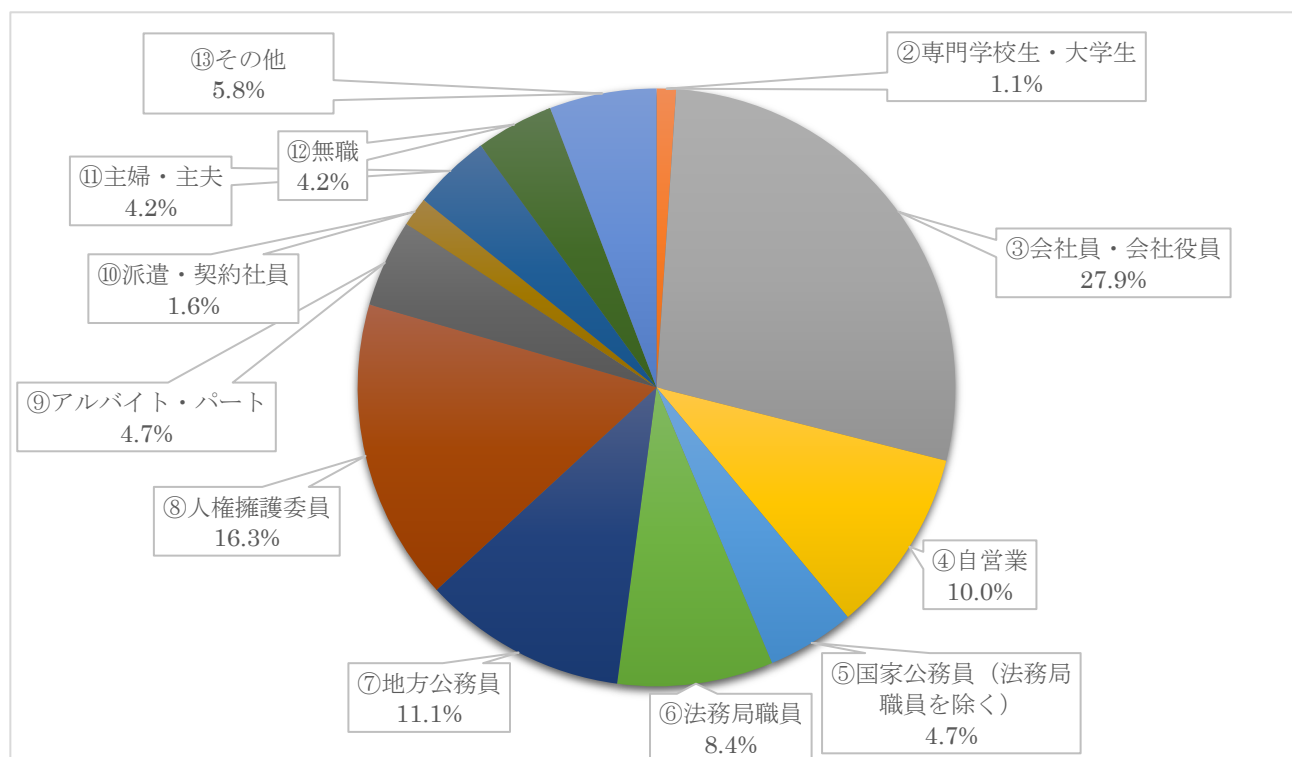
1	北海道	11人
2	青森県	2人
3	岩手県	0人
4	宮城県	1人
5	秋田県	5人
6	山形県	4人
7	福島県	3人
8	茨城県	0人
9	栃木県	0人
10	群馬県	1人
11	埼玉県	11人
12	千葉県	9人
13	東京都	39人
14	神奈川県	17人
15	新潟県	1人
16	富山県	2人
17	石川県	0人
18	福井県	3人
19	山梨県	0人
20	長野県	4人
21	岐阜県	1人
22	静岡県	3人
23	愛知県	6人
24	三重県	1人
25	滋賀県	5人
26	京都府	3人
27	大阪府	21人
28	兵庫県	5人
29	奈良県	0人
30	和歌山県	1人
31	鳥取県	1人
32	島根県	2人
33	岡山県	2人
34	広島県	7人
35	山口県	2人
36	徳島県	1人
37	香川県	0人

38	愛媛県	2人
39	高知県	1人
40	福岡県	4人
41	佐賀県	0人
42	長崎県	1人
43	熊本県	4人
44	大分県	1人
45	宮崎県	0人
46	鹿児島県	3人
47	沖縄県	0人
48	その他	0人
	無回答	0人
	計	190人



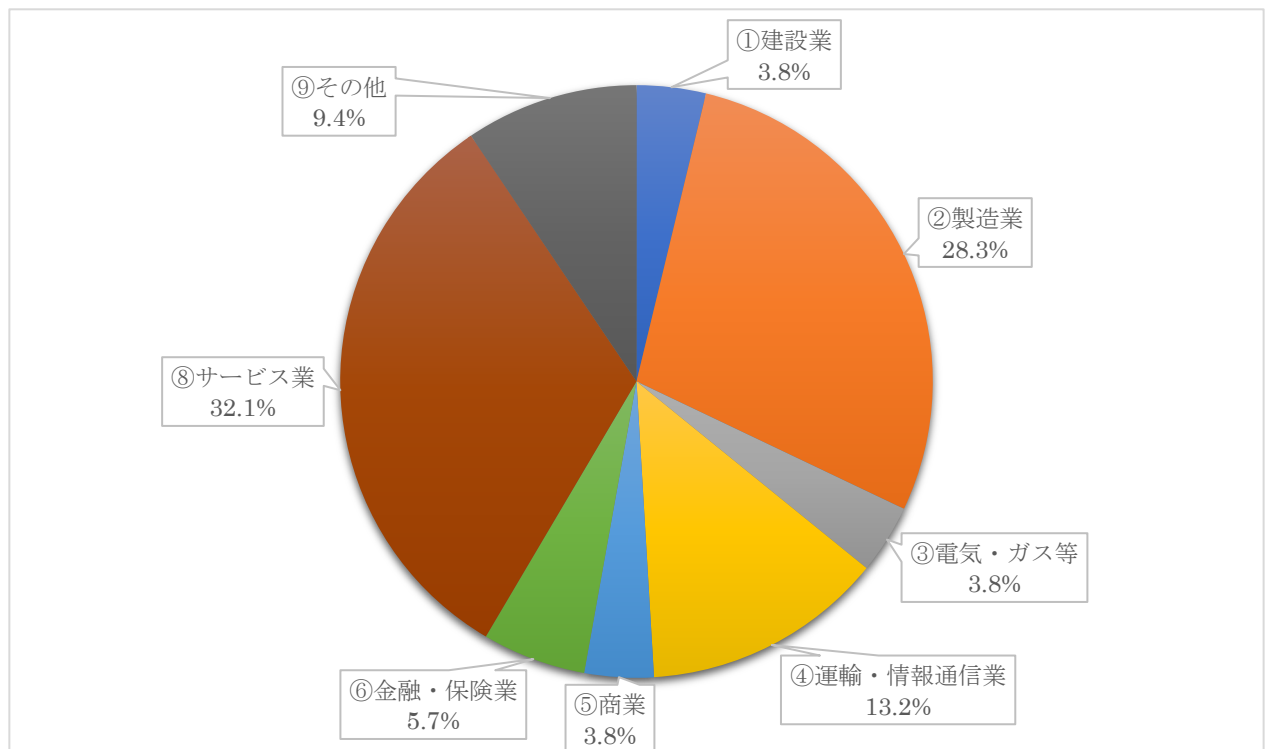
1-3. ご自身の職業等について、当てはまるものを選んでください。

1	① 小学生・中学生・高校生	0人
2	② 専門学校生・大学生	2人
3	③ 会社員・会社役員	53人
4	④ 自営業	19人
5	⑤ 国家公務員（法務局職員を除く）	9人
6	⑥ 法務局職員	16人
7	⑦ 地方公務員	21人
8	⑧ 人権擁護委員	31人
9	⑨ アルバイト・パート	9人
10	⑩ 派遣・契約社員	3人
11	⑪ 主婦・主夫	8人
12	⑫ 無職	8人
13	⑬ その他	11人
	無回答	0人
	計	190人



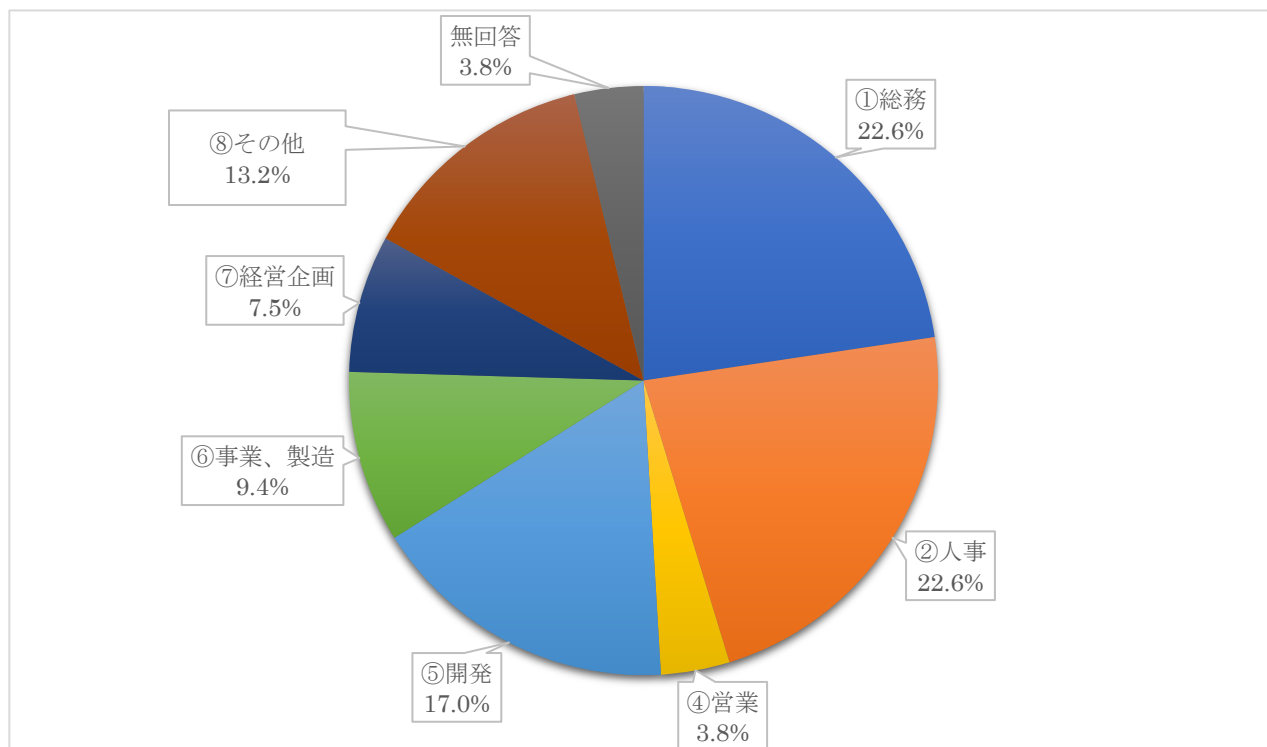
1-4-1. 「1-3」で「③会社員・会社役員」とお答えいただいた方のみ当てはまる「業種」を選んでください。

1	① 建設業	2人
2	② 製造業	15人
3	③ 電気・ガス等	2人
4	④ 運輸・情報通信業	7人
5	⑤ 商業	2人
6	⑥ 金融・保険業	3人
7	⑦ 不動産業	0人
8	⑧ サービス業	17人
9	⑨ その他	5人
10	無回答	0人
	計	53人



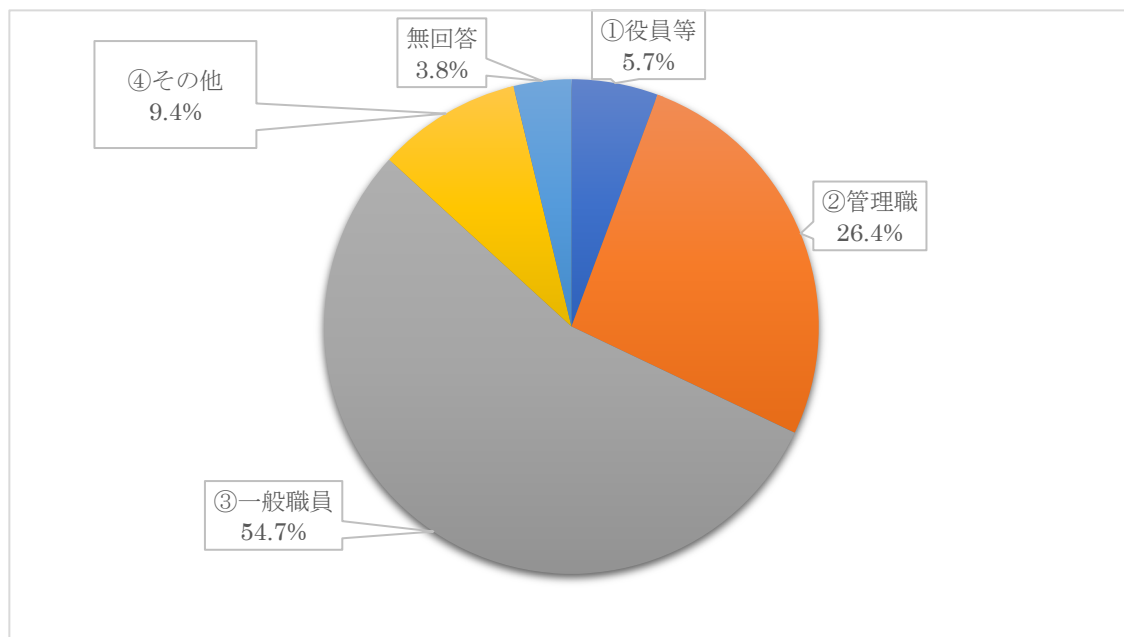
1-5-1. 「1-3」で「③会社員・会社役員」とお答えいただいた方のみ当てはまる「部署」を選んでください。

1	① 総務	12 人
2	② 人事	12 人
3	③ 経理	0 人
4	④ 営業	2 人
5	⑤ 開発	9 人
6	⑥ 事業、製造	5 人
7	⑦ 経営企画	4 人
8	⑧ その他	7 人
9	無回答	2 人
	計	53 人



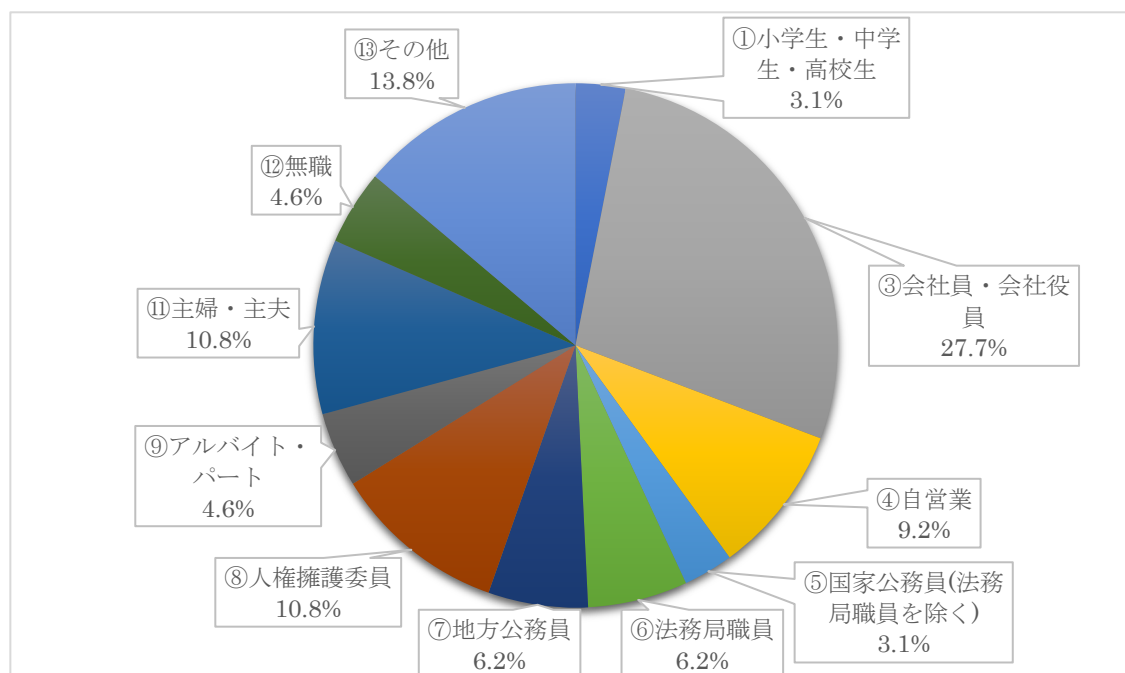
1-6-1. 「1-3」で「③会社員・会社役員」とお答えいただいた方のみ当てはまる「役職」を選んでください。

1	① 役員等	3人
2	② 管理職	14人
3	③ 一般職員	29人
4	④ その他	5人
5	無回答	2人
	計	53人



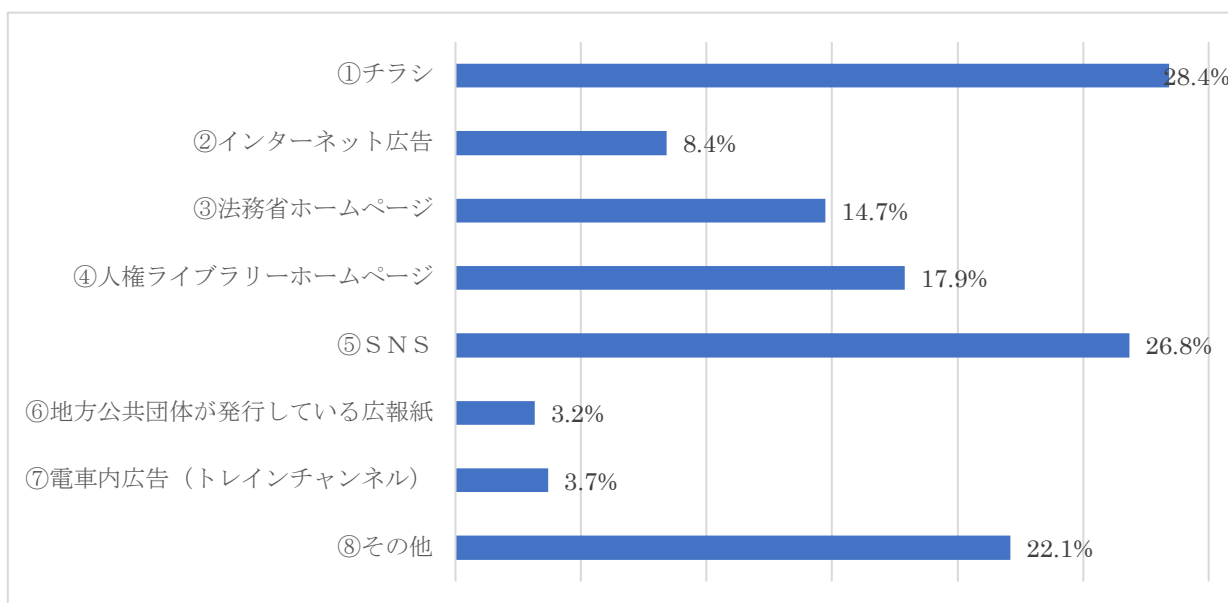
1-7. 複数人で視聴された場合は職業等の欄にそれぞれの人数を選択してください（ご自身は、人数に含めないでください）。

1	① 小学生・中学生・高校生	2人
2	② 専門学校生・大学生	0人
3	③ 会社員・会社役員	18人
4	④ 自営業	6人
5	⑤ 国家公務員(法務局職員を除く)	2人
6	⑥ 法務局職員	4人
7	⑦ 地方公務員	4人
8	⑧ 人権擁護委員	7人
9	⑨ アルバイト・パート	3人
10	⑩ 派遣・契約社員	0人
11	⑪ 主婦・主夫	7人
12	⑫ 無職	3人
13	⑬ その他	9人
	無回答	0人
	計	65人



2-1. 「共生社会と人権に関するシンポジウム～多様性と包摂性のある社会を目指して～」を
どのようにして知りましたか。(複数回答可)

1	① チラシ	54 人
2	② インターネット広告	16 人
3	③ 法務省ホームページ	28 人
4	④ 人権ライブラリーホームページ	34 人
5	⑤ SNS	51 人
6	⑥ 地方公共団体が発行している広報誌	6 人
7	⑦ 電車内広告 (トレインチャンネル)	7 人
	⑧ その他	42 人
	無回答	0 人
	計	238 人

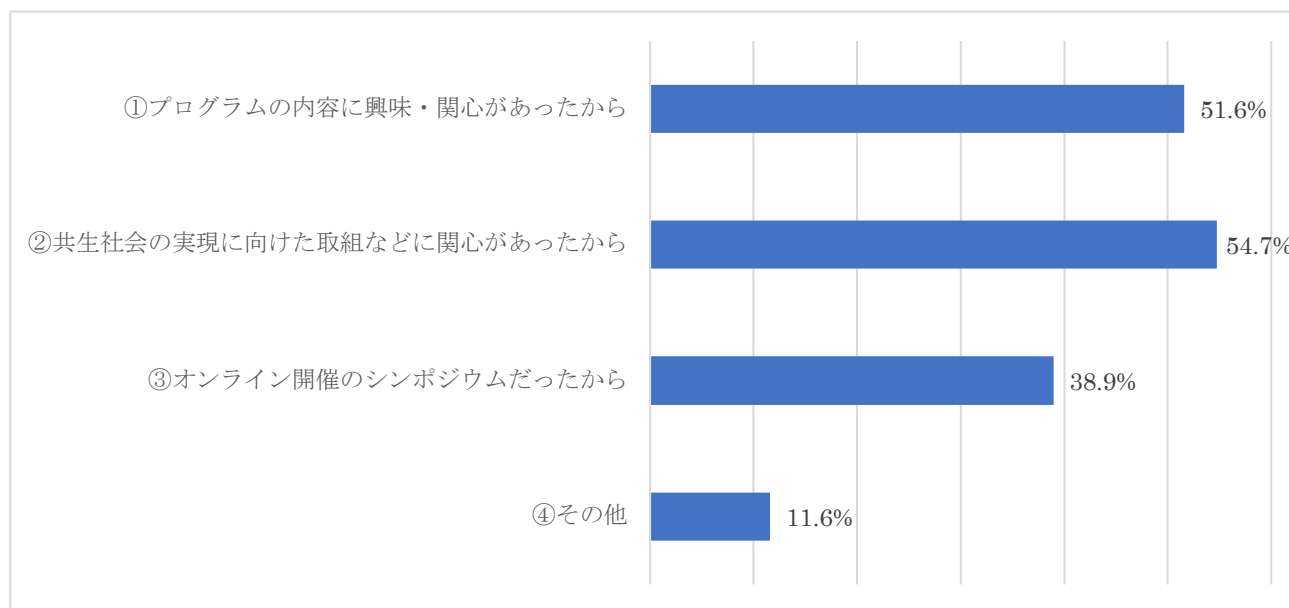


n = 190

※ n (=回答者数) に対する割合

3-1. このシンポジウムを視聴しようと思ったきっかけを教えてください。(複数回答可)

1	① プログラムの内容に興味・関心があったから	98人
2	② 共生社会の実現に向けた取組などに関心があったから	104人
3	③ オンライン開催のシンポジウムだったから	74人
4	④ その他	22人
	無回答	0人
	計	298人

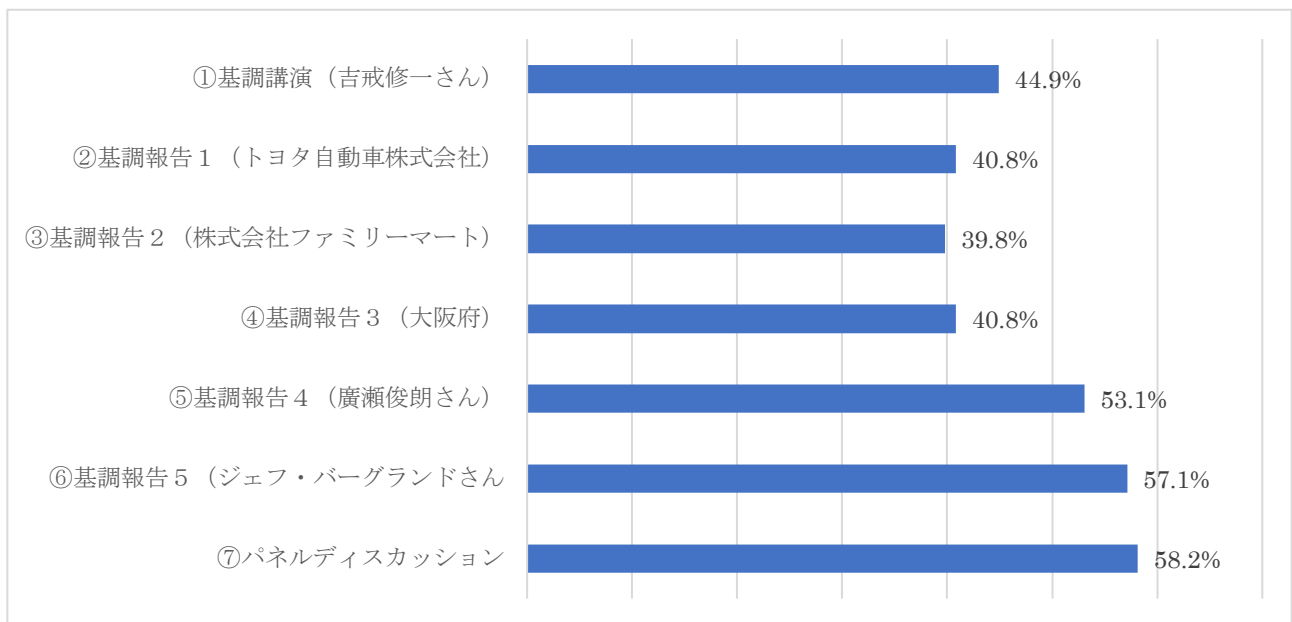


n = 190

※ n (=回答者数) に対する割合

3-2. 「3-1」で「①プログラムの内容に興味・関心があったから」とお答えいただいた方に伺います。具体的にどのプログラムに興味・関心があったかお聞かせください。(複数回答可)

1	① 基調講演 (吉戒修一さん)	44 人
2	② 基調報告 1 (トヨタ自動車株式会社)	40 人
3	③ 基調報告 2 (株式会社ファミリーマート)	39 人
4	④ 基調報告 3 (大阪府)	40 人
5	⑤ 基調報告 4 (廣瀬俊朗さん)	52 人
6	⑥ 基調報告 5 (ジェフ・バーグランドさん)	56 人
7	⑦ パネルディスカッション	57 人
	無回答	0 人
	計	328 人

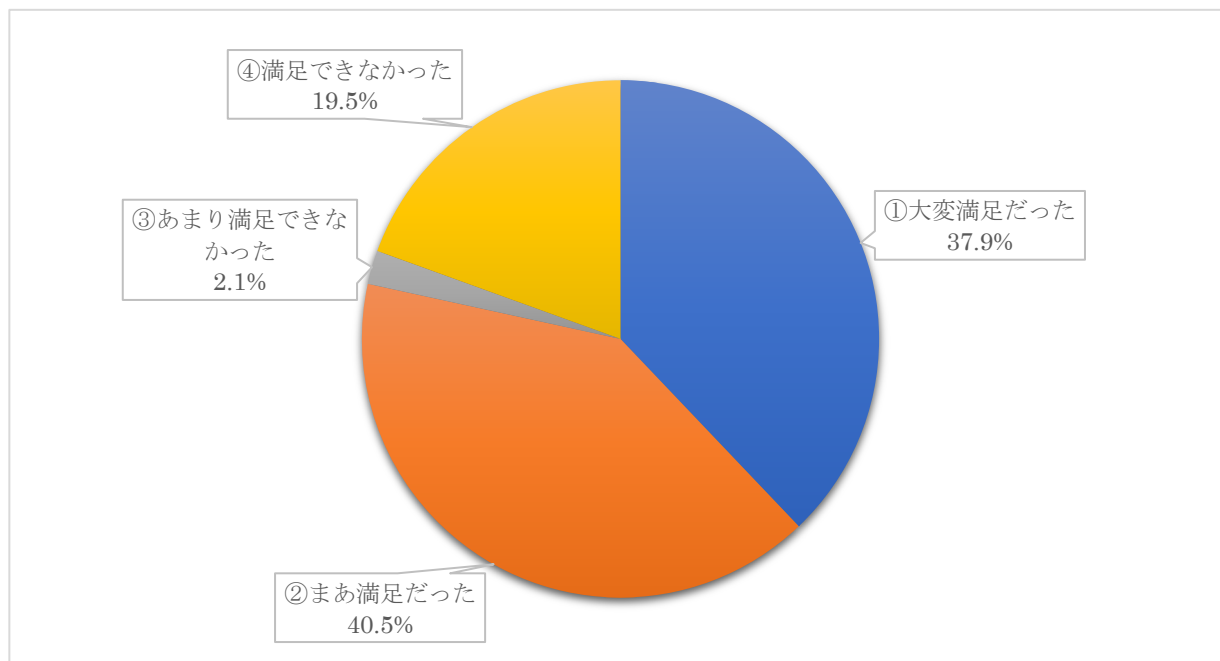


n = 98

※ n (=回答者数) に対する割合

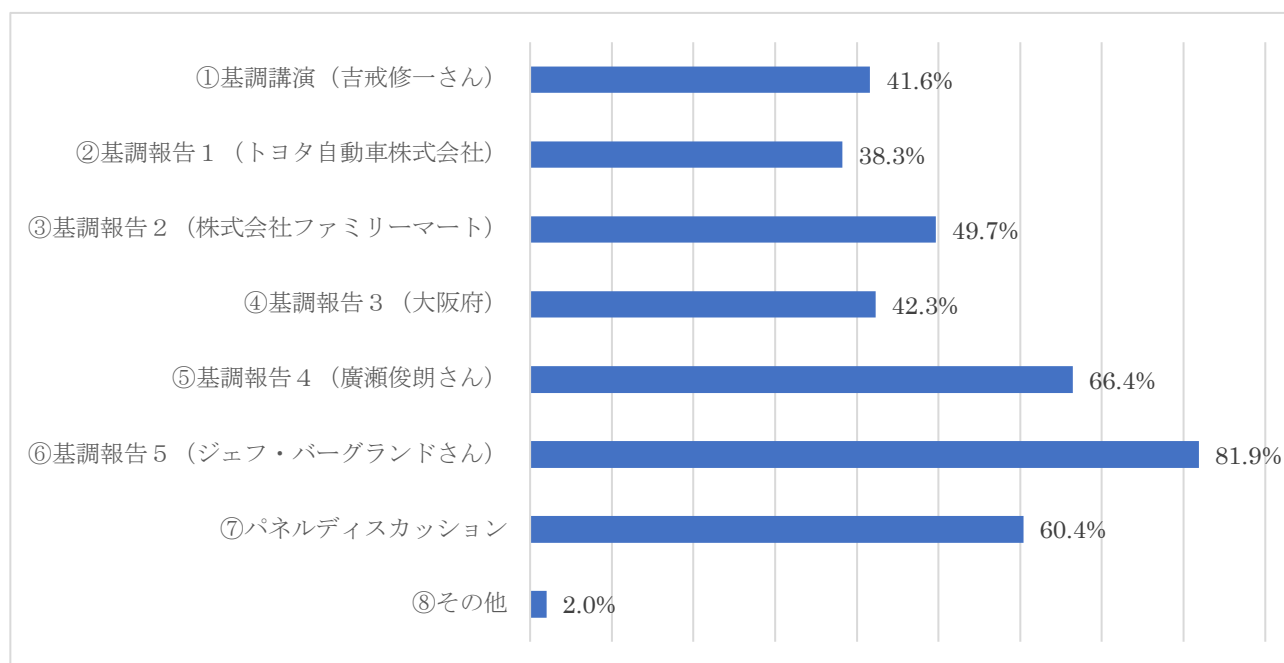
4-1. 今回のシンポジウムは全体として満足のいくものでしたか。

1	① 大変満足だった	72 人
2	② まあ満足だった	77 人
3	③ あまり満足できなかった	4 人
4	④ 満足できなかった	37 人
	無回答	0 人
	計	190 人



4-2-1. 「4-1」で「①大変満足だった」又は「②まあ満足だった」とお答えいただいた方に伺います。具体的にどの点がよかったかお聞かせください。(複数回答可)

1	① 基調講演 (吉戒修一さん)	62 人
2	② 基調報告 1 (トヨタ自動車株式会社)	57 人
3	③ 基調報告 2 (株式会社ファミリーマート)	74 人
4	④ 基調報告 3 (大阪府)	63 人
5	⑤ 基調報告 4 (廣瀬俊朗さん)	99 人
6	⑥ 基調報告 5 (ジェフ・バーグラントさん)	122 人
7	⑦ パネルディスカッション	90 人
8	⑧ その他	3 人
	無回答	0 人
	計	570 人

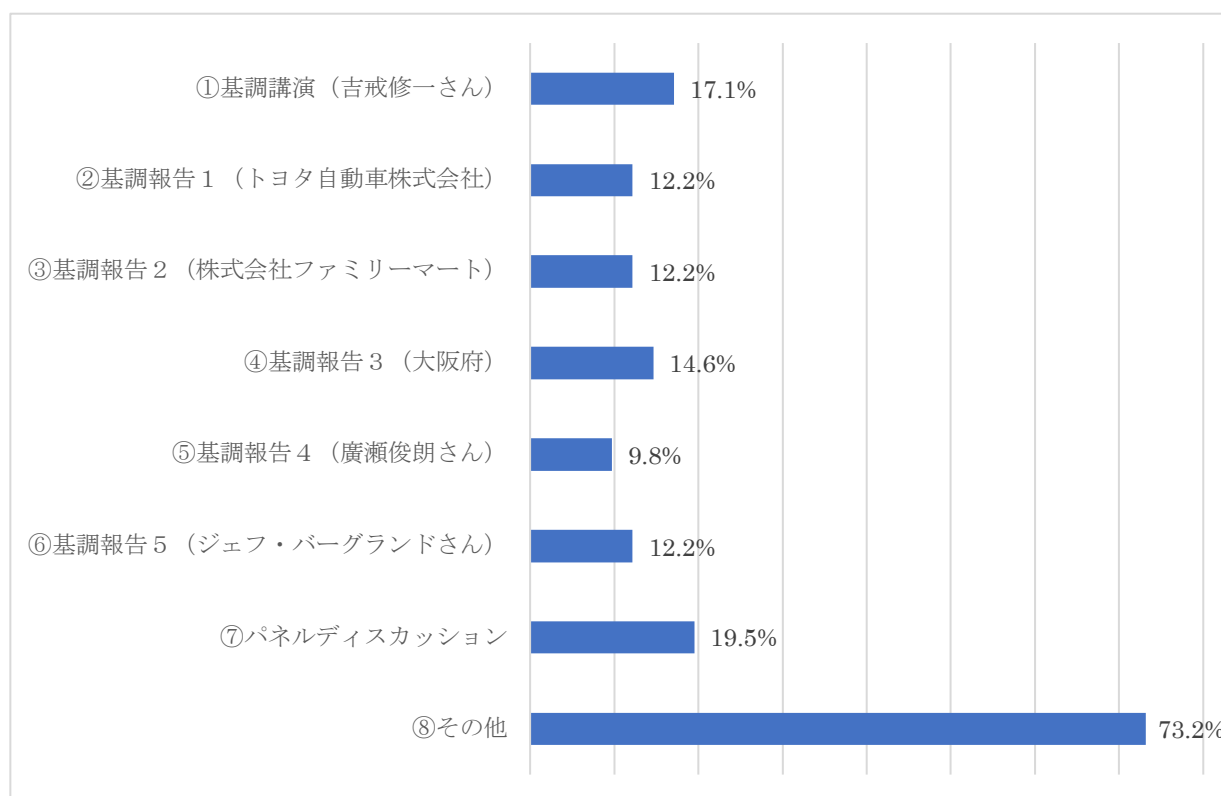


n = 149

※ n (=回答者数) に対する割合

4-3-1. 「4-1」で「③あまり満足できなかった」又は「④満足できなかった」とお答えいただいた方に伺います。具体的にどの点がよくなかったかお聞かせください。(複数回答可)

1	① 基調講演 (吉戒修一さん)	7人
2	② 基調報告1 (トヨタ自動車株式会社)	5人
3	③ 基調報告2 (株式会社ファミリーマート)	5人
4	④ 基調報告3 (大阪府)	6人
5	⑤ 基調報告4 (廣瀬俊朗さん)	4人
6	⑥ 基調報告5 (ジェフ・バーグラントさん)	5人
7	⑦ パネルディスカッション	8人
8	⑧ その他	30人
	無回答	0人
	計	70人

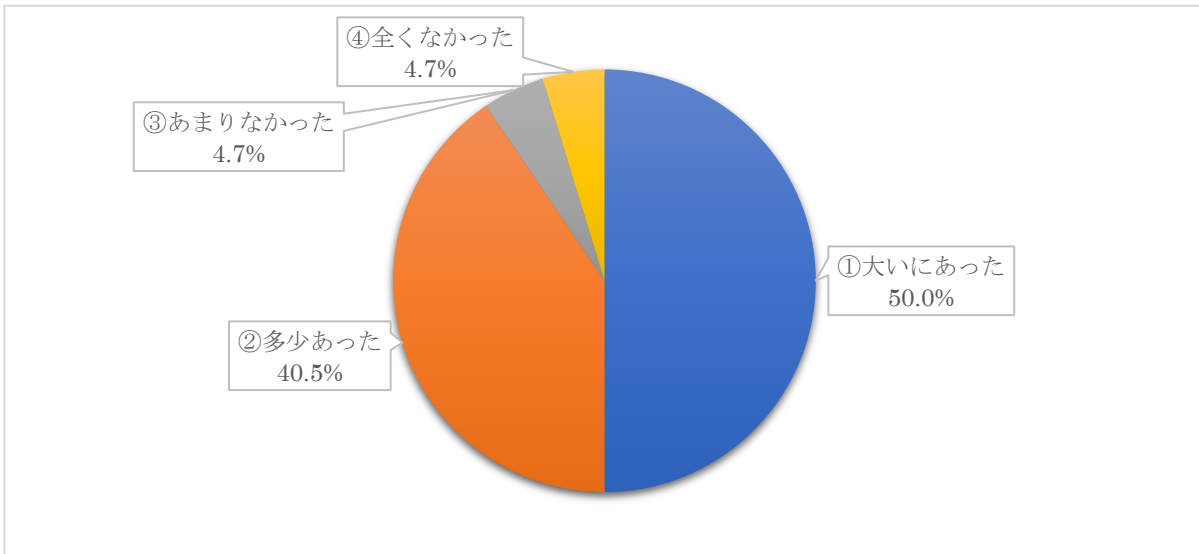


n = 41

※ n (=回答者数) に対する割合

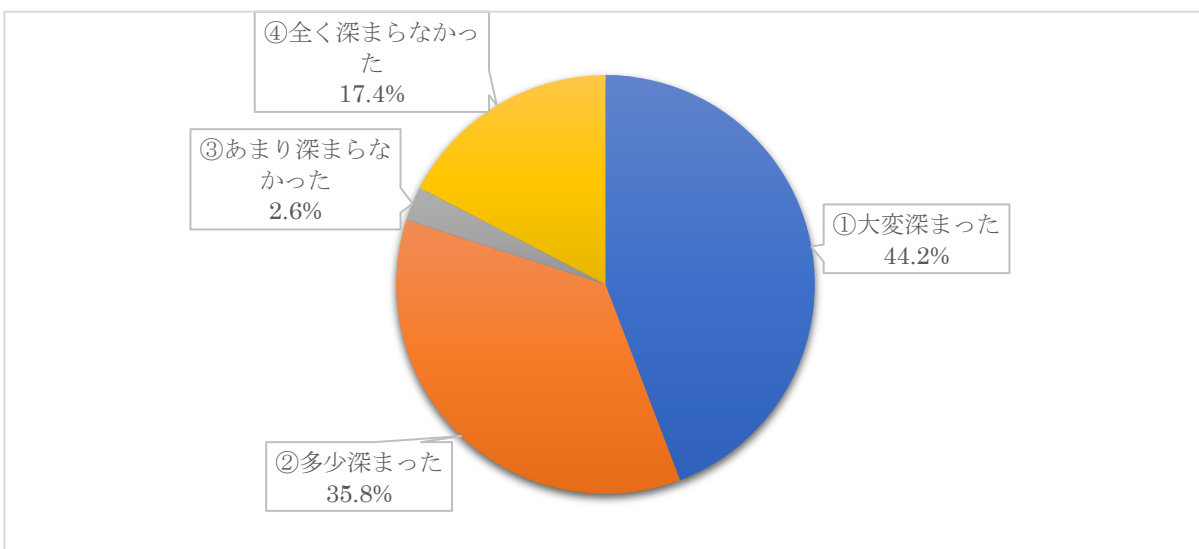
5-1. 今回のシンポジウムを視聴する以前に、共生社会についてどのくらい関心がありましたか。

1	① 大いにあった	95 人
2	② 多少あった	77 人
3	③ あまりなかった	9 人
4	④ 全くなかった	9 人
	無回答	0 人
	計	190 人



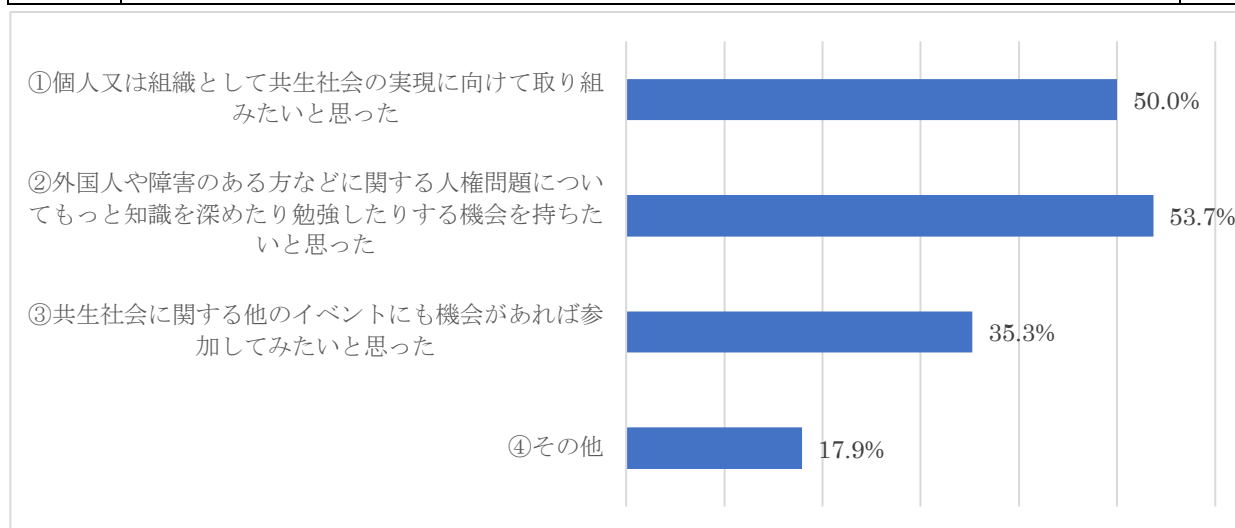
5-2. シンポジウムを視聴して、共生社会についての理解が深まりましたか。

1	① 大変深まった	84 人
2	② 多少深まった	68 人
3	③ あまり深まらなかった	5 人
4	④ 全く深まらなかった	33 人
	無回答	0 人
	計	190 人



5-4. シンポジウムを視聴して、共生社会に関して考えに変化はありましたか。(複数回答可)

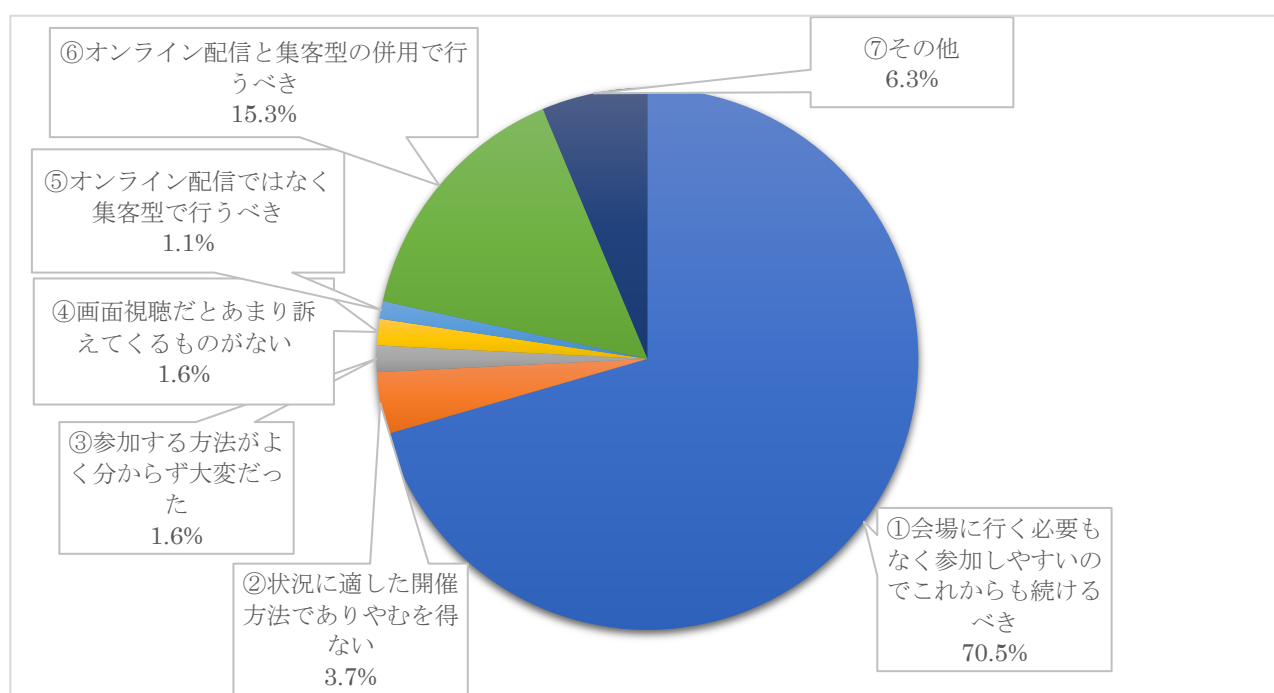
1	① 個人又は組織として共生社会の実現に向けて取り組みたいと思った	95人
2	② 外国人や障害のある方などに関する人権問題についてもっと知識を深めたり勉強したりする機会を持ちたいと思った	102人
3	③ 共生社会に関する他のイベントにも機会があれば参加してみたいと思った	67人
4	④ その他	34人
	無回答	0人
	計	298人



※ n (=回答者数) に対する割合

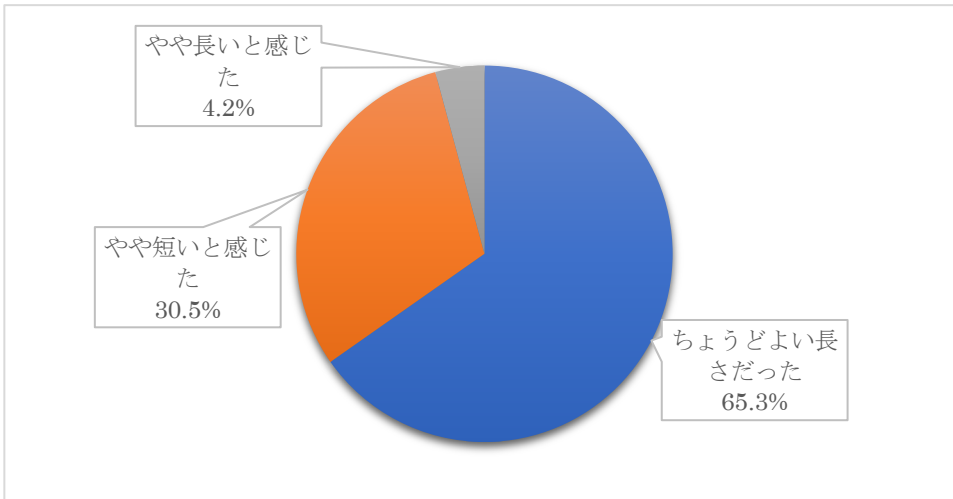
6-1. シンポジウムのオンライン開催について、どう思いますか。

1	① 会場に行く必要もなく参加しやすいのでこれからも続けるべき	134人
2	② 状況に適した開催方法でありやむを得ない	7人
3	③ 参加する方法がよく分からず大変だった	3人
4	④ 画面視聴だとあまり訴えてくるものがない	3人
5	⑤ オンライン配信ではなく集客型で行うべき	2人
6	⑥ オンライン配信と集客型の併用で行うべき	29人
7	⑦ その他	12人
	無回答	0人
	計	190人

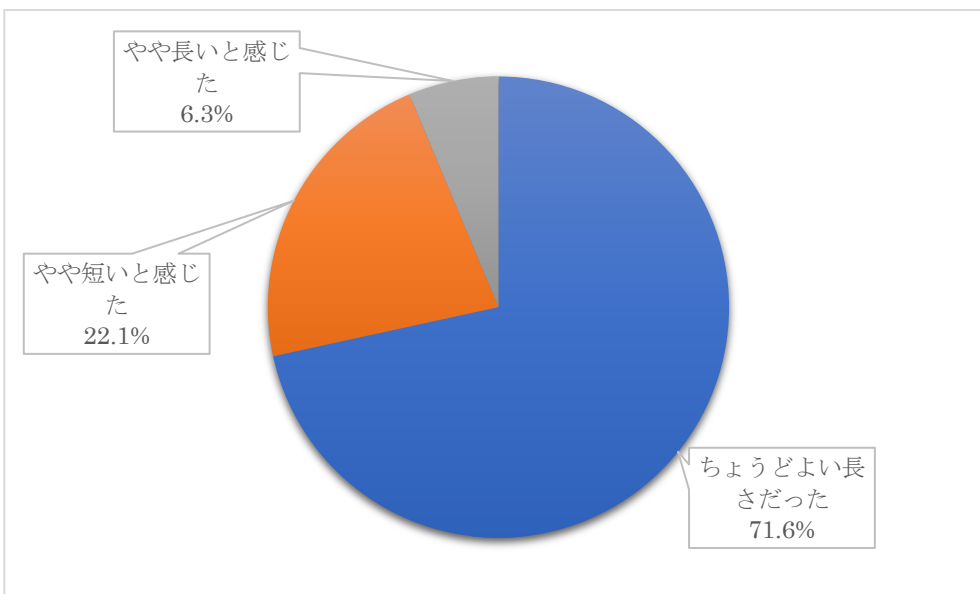


7. 各プログラムの時間についてどう思ったか、最も当てはまるものを選択してください。

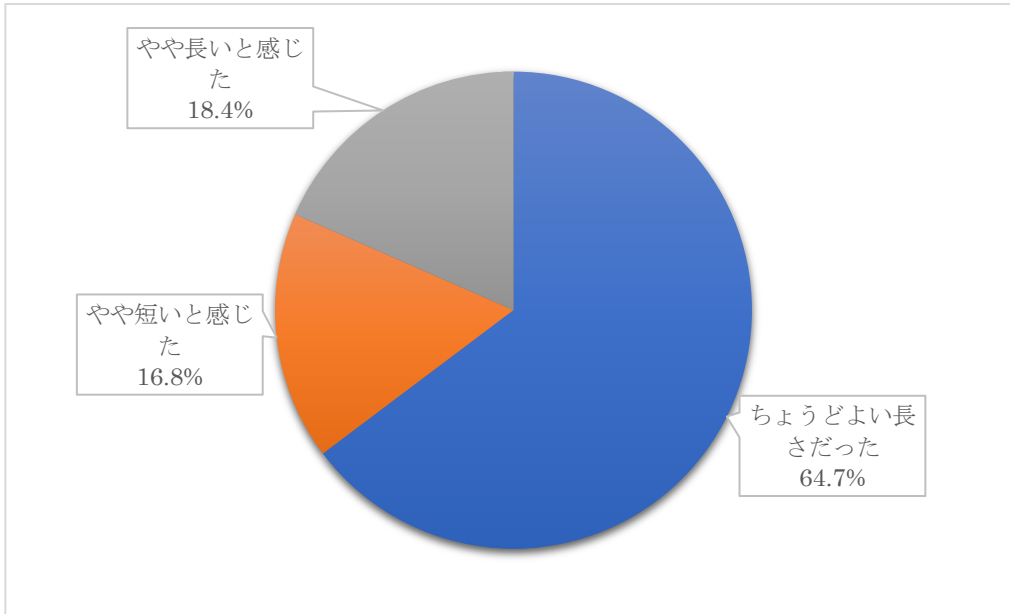
[基調講演]		
1	ちょうどよい長さだった	124 人
2	やや短いと感じた	58 人
3	やや長いと感じた	8 人
	無回答	0 人
	計	190 人



[基調報告]		
1	ちょうどよい長さだった	136 人
2	やや短いと感じた	42 人
3	やや長いと感じた	12 人
	無回答	0 人
	計	190 人

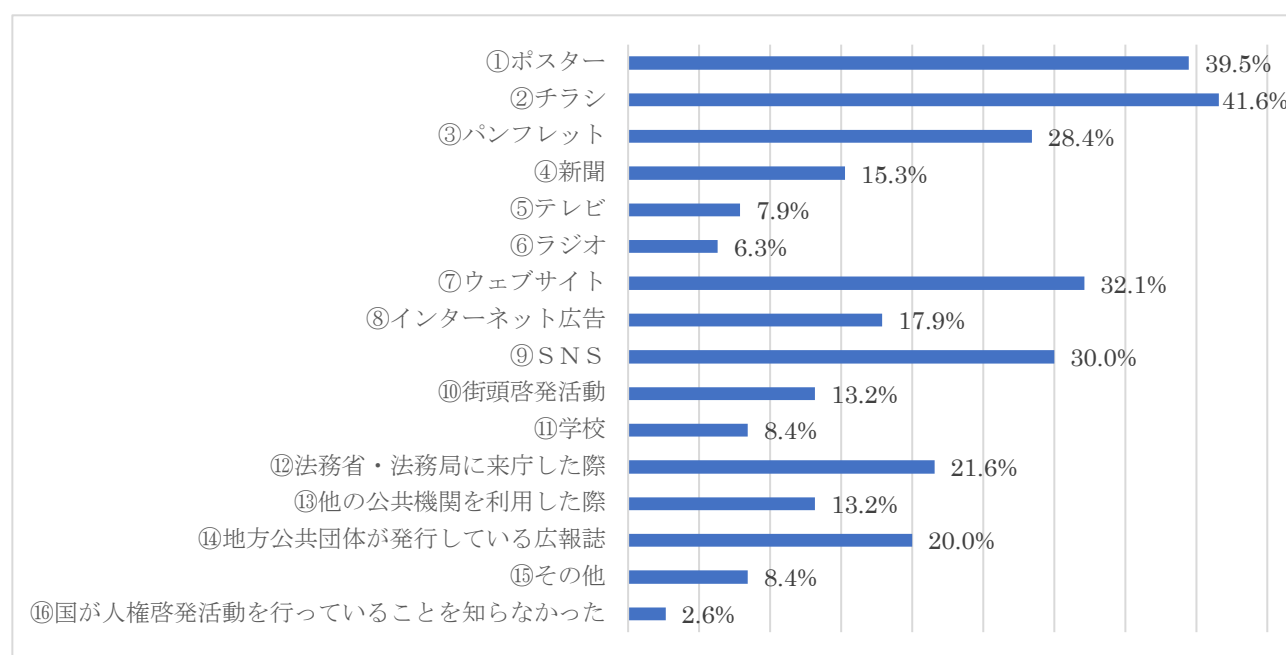


[パネルディスカッション]		
1	ちょうどよい長さだった	123人
2	やや短いと感じた	32人
3	やや長いと感じた	35人
	無回答	0人
	計	190人



8-1.本シンポジウムなど、国の人権擁護機関（法務省・法務局・人権擁護委員）は、広く人権啓発活動を行っています。国の人権擁護機関が人権啓発活動を行っていることをご存じの場合、どのようにして知りましたか。①から⑮の中から、当てはまるものにチェックを付けてください。（複数回答可）

1	① ポスター	75 人
2	② チラシ	79 人
3	③ パンフレット	54 人
4	④ 新聞	29 人
5	⑤ テレビ	15 人
6	⑥ ラジオ	12 人
7	⑦ ウェブサイト	61 人
8	⑧ インターネット広告	34 人
9	⑨ SNS	57 人
10	⑩ 街頭啓発活動	25 人
11	⑪ 学校	16 人
12	⑫ 法務省・法務局に来庁した際	41 人
13	⑬ 他の公共機関を利用した際	25 人
14	⑭ 地方公共団体が発行している広報誌	38 人
15	⑮ その他	16 人
	⑯ 国が人権啓発活動を行っていることを知らなかった	5 人
	無回答	0 人
	計	582 人



n = 190

※ n (=回答者数) に対する割合

